



# つちおと

平成30年12月21日発行  
宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5  
気仙沼市シルバー人材センター内

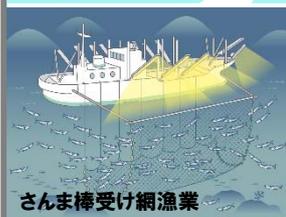
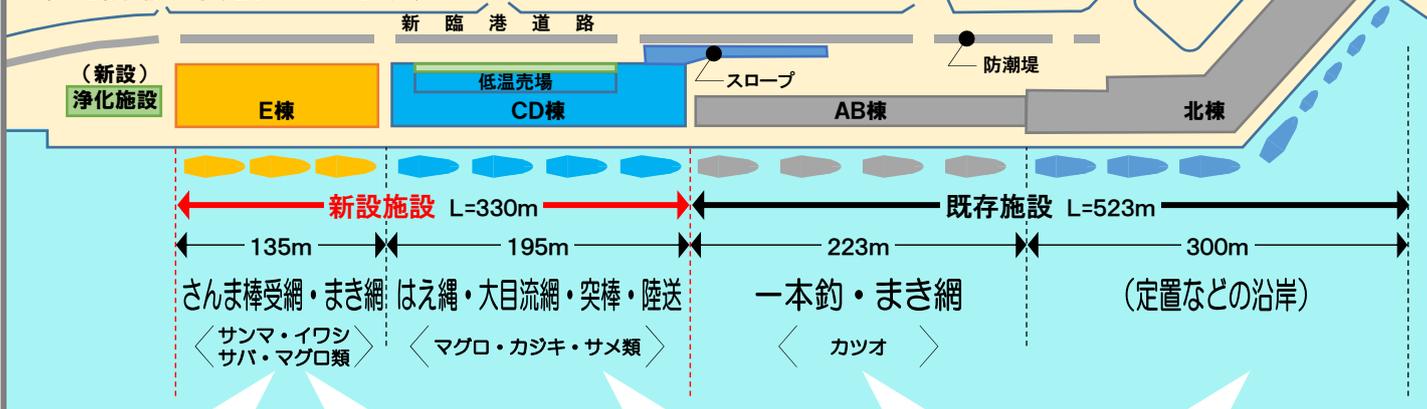
11月  
~12月

## 新気仙沼市魚市場の説明会開催 ~ 高度衛生管理型施設の完成 ~

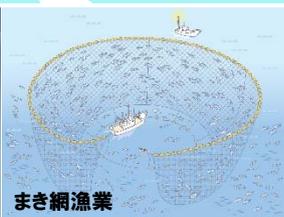
11月下旬から12月上旬にかけて、気仙沼市主催による市魚市場新施設の供用開始に向けた関係者への説明会が開催されました。新施設はCD棟・E棟等から構成され、建物本体は10月末に完成し、総事業費は約182億円で水産流通基盤整備事業や災害復旧事業等が活用されており。



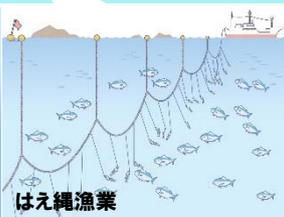
なお、この施設は高度衛生管理に対応しており、荷捌き施設をはじめ、空調設備を備えた低温室、業務効率化のための入札システム、冷海水設備、魚食普及のためのクッキングスタジオ等も備わります。今後、備品・設備の整備、利用者のトレーニングを経て、来春の供用開始が予定されています。



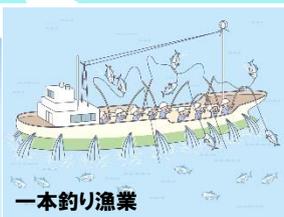
さんま棒受け網漁業



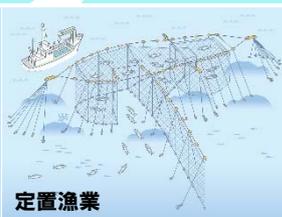
まき網漁業



はえ縄漁業



一本釣り漁業



定置漁業

11/27<sup>㊞</sup>

## 新造船所の建造船第1号の起工式開催 ~ 気仙沼と漁業の未来をつくる造船所 ~



朝日町にて整備が進められている新造船所

11月27日、来年度に開所を迎える造船所の建造船第1号となる漁船の起工式が行われました。みらい造船は被災した造船所4社が今年4月に合併し、さらにほか3社の出資により構成された造船所で、現在新しい造船所の建設が朝日町で進んでいます。津波復興拠点整備事業等が活用された総事業費約105.5億円の造船所はシップリフト方式が導入され、気仙沼の造船業再興への期待が込められています。また今回、漁業構造改革総合対策事業を活用して建造される総工費約8億円の遠洋マグロはえ縄漁船は、居住環境の向上を図るため洋上でインターネットが利用できるよう船内LANとWi-Fiが整備される等、次世代型の新しい漁船として活躍が期待されます。



12/11<sup>㊄</sup>

## みやぎジョネットサロン ～ 皆が集える場をつくる ～



12月11日、南三陸町西田・細浦地区集会所でみやぎジョネット主催のクリスマスサロン(復興庁「心の復興」事業を活用)が開催されました。両地区の防災集団移転団地の住民25名が参加し、ミニクリスマスリースを作りました。慣れない作業に苦戦しながら真剣に取り組み、作品を完成させました。そのあと、群馬県の団体から差し入れられた熱々の“おきりこみ”をみんなで一緒に食べたり、ハンドベル演奏や合唱を楽しみました。サロンは定期的で開催されており、住民の交流の場となっています。

みんなで一緒に食べた“おきりこみ”  
(群馬県の郷土料理(煮込み麺料理))

12/10<sup>㊄</sup>

## さんさん商店街フードコートに風よけ設置

12月10日、南三陸さんさん商店街のフードコートの周りに風を防ぐための囲いが設置されました。同商店街では例年、冬になると訪問客数が減るのが課題になっていました。そこで商店街では中央のフードコートに寒さ対策として風よけをフードコート全体を取り囲むように設置しました。囲いは、12月から来年3月末まで設置される予定です。



風よけに囲まれたフードコート

## + 応援職員だより + ～ まちの笑顔のため ～



応援職員の及川美紀さん。平成29年4月から復興庁の復興支援専門員として南三陸病院総務課に勤務。地元出身。

南三陸病院は、東日本大震災で被災した旧志津川病院が、仮設診療所を経て平成27年12月、台湾を始めとした国内外からの多くの支援により、本設復興、開院しました。私は主に病院内における情報システム端末の操作のお手伝いや、院内外の広報業務、診療情報管理業務などに従事しております。特に広報業務については診療体制のお知らせなど、患者さま向けの情報を町の広報や院内掲示、病院ホームページなどを通じて、正確に分かりやすく伝えられるよう心がけています。私の出身が南三陸町ということもあり、勤務環境や行き交う方言などもなじみ深く、とても自然に業務に集中させていただいております。故郷の復興と、地元の皆様の医療・福祉の手助けとなるべく、微力ながら努めてまいりたいと思います。

## ～ 進む震災復興【三陸沿岸道路（唐桑高田道路）】～

三陸沿岸道路は仙台港北ICから八戸JCTまで延長約359kmの自動車専用道路です。東日本大震災後、道路が通る概ねの範囲が示され、市町や住民の意見を踏まえながらルートが確定、震災から約8ヶ月後の平成23年11月に全線事業化されています。

唐桑高田道路は三陸沿岸道路の1区間を構成しており、延長は約10kmです。宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市に跨り、唐桑大沢地区や陸前高田市の津波浸水区域を迂回（あるいは高架橋で通過）する計画となっております。

宮城県側の工事（県境部のトンネル含む）は国土交通省仙台河川国道事務所が行っております。



県境部トンネル付近



(仮称)唐桑北IC付近

至:唐桑半島

現在、県境部にあるトンネルや青野沢川に架かる橋梁も建設が進み、(仮称)唐桑北IC部の工事を行っており、平成30年度内での供用を目指しているところです。供用となれば、唐桑一釜石間が自動車専用道路で繋がることとなります。

現場で工事を監督する九州地方整備局から応援にいられている水田監督官にお話を頂きました。

「この度、平成30年4月より九州地方整備局より宮城県気仙沼に赴任いたしました。初めて宮城県で生活することになり、地名や場所などが分からず不慣れな点もありますが、皆様の復興に少しでも役立ちたいと思います。今後も国土交通省の事業にご協力とご理解をお願いします。」とのお話を頂きました。九州地方から地域の復興にご尽力頂きありがとうございます。

11/30

～ 第22回復興交付金  
交付可能額通知 ～

10月中旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、11月30日に復興庁から交付可能額の通知を行いました。気仙沼市からは、「大沢地区における防災集団移転事業に伴う道路整備事業」など9事業、南三陸町からは「自然環境活用センター整備事業」など2事業が申請されており、既配分での事業間流用が可能となりました。これまで、平成23年から22回にわたって復興交付金の交付可能額通知を行っています。気仙沼市は合計事業費で約3,647億円、南三陸町は約1,426億円が配分されています。



現状

ここが嵩上げ  
される予定です

整備イメージ図

## ◆支所長コラム

本年も余すところわずかとなりました。今年のコラム欄では何回か災害のことを書かせて頂きましたが、先般今年を代表する漢字は『災』との報道がありました。日本は地理的な特性故に、必然的に災害が多い国なのかなとも思いますが、来年は災害のない年であることを願います。

さて、一年を振り返ってみると、今年には三陸道（大谷海岸IC－気仙沼中央IC）や国道45号汐見橋の開通、「迎（ムカエル）」や「結の里」の落成等がありました。着実に復興は進んでいると思います。一方、復興・創生期間も残すところ2年3ヶ月となりました。復興の加速化に向けて今後も職員一同頑張りたいと思います。（吉）

# 復興関連イベント

各地で開催される  
復興イベントをご紹介します。

～気仙沼～

**1月12日(土)～14日(月)**  
**御崎神社祭典**

気仙沼市唐桑の御崎神社にて祭典が行われます。

- ・12日(土)宵まつりでは、地元の人々による郷土芸能が披露され、
- ・13日(日)の本まつりでは屋台出店、
- ・14日(月)には1年の無病息災・家内安全を祈願するどんと祭が行われます。

～南三陸町～

**12月29日(土)**  
**おすばでまつり福興市**

毎年恒例の一大イベントおすばでまつりが、志津川仮設魚市場特設会場で今年も開催されます。(8:30～13:30予定)

【おすばで】とは、【酒の肴】の意味で、お正月に欠かせない海産物や農産品など南三陸の特産品が販売されます☆  
仙台発着のおすばでまつりツアーもあります！



## 龍の松 ～気仙沼市波路上岩井崎～



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

**復興庁HP** (<http://www.reconstruction.go.jp/>) ⇒ **宮城復興局** ⇒ **気仙沼支所** だより「つちおと」

### 【編集後記】

◆氷点下になるかどうか、天気予報を毎日チェックする習慣ができました。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所  
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310